

投資事業評価調書(新規)

部課室名	道路建設課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	道路建設課長 河南 嘉彦 (尾原 勉)	内線	4 3 6 2 (4 3 7 6)
------	-------	---------------------	------------------------	----	----------------------

事業種目	道 路	事業名	事業区間	総事業費	約 9.1 億円 (うち用地補償費 5.1 億円)
		(主)三田篠山線 県単独事業	篠山市北～小枕		

所在地	着工予定年度	完成予定年度
篠山市北～小枕	H 1 6 年度	H 2 0 年度

事業目的	事業内容等
<p>本路線は、北摂地域と丹波地域を結び、南北幹線道路であるが、国道 3 7 2 号から篠山市街地を結ぶ当該区間は、幅員狭小で、通学路でありながら歩道もないことから、バイパス整備により交通安全性の向上を図る。また、本路線は国道 3 7 2 号を経て旧今田町と篠山市中心部を最短で結び、新市の一体感醸成、各種行政サービスの確保を図る。</p>	<p>バイパス L=1,340m 現況：W=4.0(5.0)m:1車線 計画：W=6.0(10.0)m:2車線+片側歩道(2.0m) 交通量(台/日)：現況 7,129 計画 7,600</p>

評価視点	評価内容
(1)必要性 安全・安心の確保	<ul style="list-style-type: none"> 当該区間は幅員狭小で通学路でありながら歩道もなく、交通事故の危険性が高いため、安全な通学路を確保する。 現道の交通動線がクランク形状であるため、これを解消するバイパス整備により、朝夕の渋滞を解消し、円滑な交通を確保する。
暮らしと交流を支える道づくり	<ul style="list-style-type: none"> 国道 3 7 2 号を経て旧今田町の中心部と篠山市街地を最短で結ぶ本路線の整備により新市の一体感醸成、市役所へのアクセス性を向上させ、魅力あるまちづくりに寄与する。
地域ニーズ	<ul style="list-style-type: none"> 通学児童生徒の安全確保及び、合併後の一体感醸成のため、市、地元自治会から、早期整備の要望がある。
(2)有効性・効率性 有効性	<ul style="list-style-type: none"> 歩道設置により自転車・歩行者の安全が確保されるとともに、交通の円滑化による交通事故減少効果が期待できる。 旧今田町中心部から篠山市街地までの到達時間が約 5 分短縮され、新市の一体感醸成に資するとともに、地域間の交流・連携強化が図られる。 費用便益比 B / C = 1.9
代替性	<ul style="list-style-type: none"> 当該区間は人家が連担しており、通過交通を排除するためバイパスが最適である。また、現道拡幅に比して工費的にも有利である。
効率性 (事業執行環境)	<ul style="list-style-type: none"> 既存市道及び現道を拡幅するなど既存ストックを活用した整備により、効率的な整備が可能となる。 円滑な事業実施に向け既に用地取得の面で地元の協力体制が整っている。
(3)環境適合性	<ul style="list-style-type: none"> 通過交通がバイパスに転換することにより、現道沿集落の生活環境の改善が図られる。 道路法面は周辺植生に配慮した法面緑化を行う。
(4)優先性	<ul style="list-style-type: none"> 旧町中心部と新市中心部を結ぶアクセス道路で唯一残る未改良区間であることから早期整備が望まれており、地元の理解・協力が得られることから「合併支援県道整備事業」を活用し、平成 1 6 年度より事業着手する。

